

いばらき 県シ連だより

IBARAKI Prefecture Silver Human Resources Center Federation

平成31年
1月
発行



『村松虚空蔵尊』
撮影／公益社団法人
東海村シルバー人材センター
稲見 博さん

特集

油断は禁物 食中毒患者が最も多い季節は冬

夏に多い細菌性食中毒(カンピロバクターなど)と、
冬に多いウイルス性食中毒(ノロウイルスなど)。



目次

連合会会長挨拶	2
茨城県知事挨拶・茨城労働局長挨拶	3
特集「油断は禁物 食中毒患者が最も多い季節は冬」..	4
センター訪問	8
会員の声	10
利用者の声	11
就業活動レポート	12
平成30年度高齢者活躍人材育成事業技能講習の実施状況 ..	14
普及啓発活動・シルバーフェスティバル	15
配分金収入に対する所得税の取り扱いについて	16

年頭のあいさつ

会員の確保に努めていく

公益社団法人 茨城県シルバー人材センター連合会

会長 綿 拔 剛



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、ご家族お揃いで健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昨年中は連合会に対し、各般に亘りご理解とご支援を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、個人消費や設備投資が堅調に推移し、国内経済は穏やかに回復を続けております。本年の先行きについては、消費税率引き上げにより、景気の減速が避けられないと見込まれていることから、実質GDPも微増に留まると予測されますが、緩やかな回復基調は続く判断されております。

このような中、日本の総人口は減少を続け、人口動態では15歳～64歳の生産年齢人口が減少している中で、65歳以上の老年人口は年々増加しています。このため、シルバー人材センターの果たすべき役割は一層大きなものとなってきております。

しかしながら、ここ数年は「会員数の減少」、「事業実績の停滞傾向」がより顕著になるなど、私どもシルバー人材センターを取り巻く環境は厳しいものが続いております。さらに、公益化に伴っての収支相償の規定により、運営費の確保も難しくなっています。

このような状況下、私たちはシルバー人材センターの基本である「会員の確保」、「就労の開拓」、「安全・適正就業の徹底」などに徹底的に取り組んでいく必要があると考えます。特に「会員の確保」につきましては、全国シルバー人材センター事業協会による第2次会員100万人計画の初年度にあたりますことから、これまで以上に新入会員の勧誘や年度末の退会者の抑制に力を入れていく必要があります。

当連合会といたしましても、各シルバー人材センターのご協力をいただきながら、これまで以上に事業の積極的な推進に努めてまいり所存でございますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、シルバー人材センターの益々の発展と、会員、役職員の皆様方にとって安全で明るい年になりますよう心から祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

謹賀新年



公益社団法人 茨城県シルバー人材センター連合会 役員名簿

会 長	綿 拔 剛	(公社) 茨城県シルバー人材センター連合会
副 会 長	加倉井 健一	(公社) 水戸市シルバー人材センター
副 会 長	安田 和夫	(公社) かすみがうら市シルバー人材センター
常務理事	稲葉 精一	(公社) 茨城県シルバー人材センター連合会
理 事	塚本 将男	(公社) 龍ヶ崎市シルバー人材センター
理 事	根岸 幹和	(公社) 牛久市シルバー人材センター
理 事	江連 史郎	(公社) 結城市シルバー人材センター
理 事	石田 正雄	(公社) 行方市シルバー人材センター
理 事	秋山 康俊	(公社) 古河市シルバー人材センター
理 事	瀬谷 正志	(公社) 那珂市シルバー人材センター
理 事	鈴木 博之	(公社) 大洗町シルバー人材センター
監 事	坂本 和重	公認会計士・税理士
監 事	大山 百合子	(公社) 東海村シルバー人材センター

新年のごあいさつ



茨城県知事

大井川 和彦

あけましておめでとうございます。

皆様にはすがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、我が国では急速な人口減少・少子高齢化が進行しており、生産年齢人口は世界主要国の中でも最低水準になることが予測されております。

支援の必要な高齢者や子育て世代への支援など、高齢者の方々にも地域社会の中で一層活躍していただくことが期待される中、高齢者の多様な就業ニーズに応じ、地域社会に密着した就業機会の確保・提供を通し、生きがいの充実や社会参加の促進を図るシルバー人材センターが果たす役割はこれまで以上に重要なものとなっております。

幸い、本県健康寿命は全国順位で、男性九位、女性八位とされております。

県といたしましても、昨年末に策定した「茨城県総合計画～新しい茨城への挑戦～」に基づき、高齢者のライフスタイルに合わせた雇用・就業の機会の提供に努めるほか、健康長寿日本一を目指して、県民の健康づくり・生きがいづくりに取り組んでまいりますので、皆様方には、健康にご留意いただきながら、地域コミュニティを支える一員として、より一層のご活躍を期待しております。

むすびに、公益社団法人茨城県シルバー人材センター連合会の益々のご発展と、皆様方のご健勝・ご多幸をお祈りいたしまして、新年のあいさつといたします。



厚生労働省茨城労働局長

福元 俊成

あけましておめでとうございます。

シルバー人材センターの皆様方には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は私ども労働行政の業務運営に対し、格別のご理解とご支援をいただき、心より御礼申し上げます。

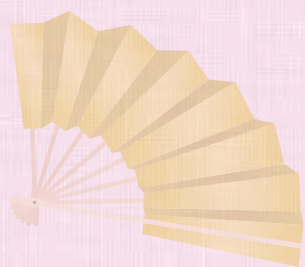
ご存じのとおり、我が国は世界でも例を見ないほど急速な高齢化が進んでおります。総務省の報告では、平成30年9月の総人口に占める65歳以上の高齢者の割合は28.1%に達して過去最高となり、就業者数も14年連続で増加し807万人と過去最多になっております。

昨年5月に開催された「人生100年時代構想会議」では、大臣より、人生100年時代を見据え、65歳以上まで働ける環境整備等を図るべく、企業における具体的方策や生涯現役を当たり前のものとする「社会的機運の醸成」などに取り組む旨の発言があったところです。

そのような中で、シルバー人材センター事業は、地域高齢者の多様な就業機会を確保し、高齢者が生涯現役で社会参加していくことを支援するという観点からも、今後益々重要な役割を担われるものと確信しております。

会員の皆様には、連合会、各拠点が一体となり、会員の拡大や新たな就業機会の開拓、更には、現役世代を支える分野やサービス業等の人手不足分野での派遣就業事業等、シルバー人材センター事業のより一層の推進をご期待申し上げます。

結びに、今年一年の皆様方の益々のご健勝とご発展を祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



特集

油断は禁物

食中毒患者が最も多い季節は冬

夏に多い細菌性食中毒(カンピロバクターなど)と、冬に多いウイルス性食中毒(ノロウイルスなど)。



食中毒というと、夏場に多いイメージを持たれると思いますが、患者数では冬が最も多くなっています。その原因の大半を占めるのが、ノロウイルスです。ノロウイルスは少量の感染により発症するため、学校や施設等での大型食中毒の発生事例を耳にすることも増えてきました。抵抗力が落ちているときに感染すると重症化することもあり、高齢者であるシルバー会員にとっては十分に気をつけなくてはなりません。自身が感染しないように注意することは当然ですが、知らないうちに仲間やお客様に感染させてしまうこともあります。



そこで、今回は水戸市にある公益財団法人農民教育協会 鯉淵学園農業栄養専門学校の商品栄養科長 野口貴彦先生(農学博士)に、冬に多い食中毒の対応についてお話を伺いました。鯉淵学園農業栄養専門学校は、昭和20年に創設された全国農業会の「高等農事講習所」を起源とし、専門的に農業と栄養学を学ぶことができる学校です。



食中毒の種類

国内で発症する食中毒の原因は、細菌（カンピロバクターなど）、ウイルス（ノロウイルスなど）、寄生虫、植物・動物性自然毒、化学物質（消毒薬など）、真菌（カビ）などがあります。特に発生件数が多いのが細菌とウイルスを原因とするもので、全体の約8割を占めています。また、最近は寄生虫（アニサキスなど）や植物性自然毒（スイセン、毒キノコなど）による食中毒も増えてきました。このように食中毒には様々な原因がありますが、細菌とウイルスによる食中毒が大半を占めていることから、まずはこれらが原因となる食中毒を予防することが重要です。

夏と冬では食中毒の原因は異なる

夏場は細菌性の食中毒が多く発症しています。細菌性食中毒は、細菌にとって増殖に都合の良い梅雨から夏期がピークです。食品を室温が上がりやすい場所に長時間放置していると細菌が増殖し原因となります。名前ぐらいは聞かれたことがあるかもしれませんが、以前は腸炎ビブリオ、サルモネラ属菌そして黄色ブドウ球菌を原因とした食中毒が多く発生していました。衛生管理技術が進歩してきた現在では、それらを原因とする食中毒はかなり抑えられるようになっています。代わりに増加しているのが、カンピロバクターを原因とする食中毒です。カンピロバクターは鶏肉を生のままや生焼け状態で食べることによって発症する例が多くみられます。しっかり加熱することで予防効果は高まりますし、食中毒症状もあまり重症化することはありません。ただ、1～3週間後にギランバレー症候群が発症することがあります。体内にカンピロバクターを攻撃する抗体ができるのですが、カンピロバクターがなくなった後、稀に体を攻撃（自己免疫疾患）する場合があります。それが原因で入院したという事例もあり、そこからカンピロバクター食中毒は怖いとメディアで取り上げられました。



※イラストはイメージです

冬場に多いのは、ノロウイルスによる食中毒です。発生が11月から3月に集中していて、国内における病因物質別患者数では10年以上も第1位です。原因となる食材の多くはカキなどの二枚貝で、ノロウイルスに汚染されたカキを食べると激しい嘔吐と下痢が2、3日は続きます。その後症状はおさまっていきますが、高齢者がノロウイルス食中毒になった場合は要注意です。激しい下痢に伴う脱水症状や嘔吐物による窒息で、死亡した事例もあります。

また、ノロウイルスの特徴は感染力が強いということです。ノロウイルスをわずか数個摂取しただけでも感染したという報告もあります。日常で気を付けなくてはいけないのが、嘔吐物や排泄物の後始末を素手で行うと連鎖的に発症すること、軽症であったためにノロウイルス食中毒と気が付かずに汚染を広げてしまうことです。数年前に学校給食で大規模なノロウイルスの食中毒事件がありました。原因食品の製造工程を調べてみると出荷した工場の作業員が、軽症だったためにノロウイルスとは気づかず、そして手指の洗浄消毒が不十分な状態で作業の工程で直接その食品に触って汚染を広げ出荷したことが原因でした。

ノロウイルスの主な感染経路

- ウイルスに汚染されたカキなどを加熱調理せずに食べて
- ウイルスに汚染された食材や感染者が触れた食品や食器、調理器具を通じて
- 発症者の嘔吐物や便を処理する際に手指を介して

ノロウイルス食中毒の予防方法

ノロウイルス食中毒は、予防に努めることが大切です。感染力を奪うには、食品の場合は中心温度を85℃で1分以上加熱をすることです。消毒する場合は次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤の主成分）を使用することが推奨されています。

原因食材で最も多いカキを食べる場合には、しっかり加熱してから食べてください。生ガキなどは加熱しないため、まずは生食用と加熱用の区分をしっかりと守ることです。しかし、生食用も絶対に安全だとは言いきれませんので、体調が優れないと思った時などは、できるだけ生食は避けた方が良いでしょう。高齢者福祉施設では、カキを使った献立を避け、調理スタッフにもカキをできるだけ食べないよう指導するところさえあるようです。

カキを調理する場合は、台所でも注意が必要です。生ガキをまな板や包丁、ボール、トレイなどで扱うと、ノロウイルスがその調理器

具に付着する恐れがあります。素手で生ガキに触れた場合も、同様に手にノロウイルスが付着する恐れがあります。その後、調理器具や手を十分に洗浄消毒できないと、他の食品や食器を汚染させてしまいます。生で食べる食品や加熱調理後の食品に付着した場合はどうすることもできません。これを防ぐためには、生ガキを扱った調理器具（まな板やボール、トレイなど）はできるだけ使い回さないこと、生ガキに触った後は手をできるだけ丁寧に洗浄することです。また調理が終わった後、調理器具や調理台は、水で薄めた次亜塩素酸ナトリウム溶液で消毒するとリスクはかなり低減できます。

ノロウイルス食中毒の発症者が出た場合は、発症者自身がトイレに入った後、手の洗浄を丁寧にすることが大切ですが、症状が重いとなかなか徹底できません。そこで、まわりの人間がノロウイルスの汚染があるかもしれないと意識して対応することが重要です。嘔吐物や排泄物の処理は、素手では絶対に行わない。トイレに流せないものはビニール袋に入れてしっかりと口を縛って廃棄する。嘔吐物などが付いたテーブルや床などは次亜塩素酸ナトリウム水溶液で消毒するとリスクが低減されます。ノロウイルスは、ヒトの腸管で増殖し大便と共に排出されます。下痢の症状が治まっても、1、2週間は大便と共に排出され続けるという報告がありますので、症状が治まってもノロウイルスを排出し続けているという意識を持ってください。

発症者が触れたもの、特にトイレ（便座やトイ





レットペーパーのホルダーなど) やドアノブなども次亜塩素酸ナトリウム水溶液で消毒すると効果があると考えられます。嘔吐物や排泄物が付着した衣類・下着などは、別に洗濯することでもリスク低減につながります。そしてやはり、飲食する前に必ず手をよく洗うことと、素手でお菓子などを食べないように意識して行動することです。

家事代行サービスや食品を扱う場合に注意すること

シルバー人材センターでも、仕事として家事代行サービスや食品を扱う場合がありますので、手洗いの徹底と調理器具の使いまわしには気をつけてください。調理器具も使用したらすぐ洗剤で洗い、置きっぱなしにしないことです。置きっぱなしにすると、何か他の事に使ってしまうことがありますので常に意識して行動してください。今は食品製造の現場では、素手で食品には触らないよう徹底されていますので、同様に手袋をはめて作業するとか、頻繁に手を洗うことが大切です。ノロウイルス食中毒の予防は、「ウイルスを付けない、持ち込まない、広げない」を心掛けることが重要です。

ノロウイルス食中毒は、人によって、または体

調によって激しい症状が出たり、ほとんど症状が出なかったりする場合があります。軽い症状が出るなどいつもと調子がちょっと違うなと感じたときは、できるだけ調理の業務には携わらないこと、トイレの後はいつも以上に丁寧に手を洗浄消毒することを心掛けるべきです。この様にノロウイルス食中毒の予防については、一人一人が意識を高く持つことに限ります。ノロウイルス対策に効果がある次亜塩素酸ナトリウム水溶液は、各地域の保健所などが簡単な作り方を広報していますし、ドラッグストアなどでも「ノロウイルス対策」用として販売されています。



冬期の食中毒として注意が必要なノロウイルス食中毒は、その感染力から1件の食中毒で数百人の患者が出ることもあり、また高齢者では死亡例も起こる非常に恐ろしいものです。しかし、しっかりとした知識を持って予防に取り組めば絶対に防げないものではありません。この時期は特に注意が必要ですが、まずは手洗いをこまめに丁寧に行うこと、できるだけ素手で食品を触らないように心がけるだけでも発症リスクの低減は期待できますので、ぜひ取り組んでみてください。

接遇力を高めて、 心を込めた仕事を行う

公益社団法人 水戸市シルバー人材センター

水戸市は、茨城県の政治と経済の中心地です。1889年(明治22年)4月に日本で最初に市制を施行した全国31市の一つで、今年(2019年度)は市制施行130周年を迎えます。人口は約270,000人で、県内では最大です。産業では商業・サービス業の割合が高く、産業別の就業者数は74.1%(平成27年度国勢調査)を占め、商圏人口も約820,000人に及んでいます。

会員数は、2018年9月末現在930名(男性627名、女性303名)です。発注者の内訳では、一般家庭が43%、民間企業が36.7%、公共が20.3%(平成29年度)になっています。個人宅の場合は植木剪定や除草作業が中心で、除草作業だけでも年間3000件はあります。民間企業は派遣、公共は駐車場や施設などの管理が中心です。仕事で多いのは、植木剪定と除草作業です。年末になると障子・襖張りも増えてきます。一方で、施設管理の仕事は減ってきました。その理由としては指定管理制度の導入です。今まで市からシルバーに依頼のあったところも、指定管理になると別の業者さんに変えられるというケースが見受けられます。

一番の課題として感じているのは、除草作業や植木剪定の後継者問題です。平均年齢も徐々に上がり、仕事を退く方も増えてきました。しかし、補充できる後継者が育っていません。現在の会員の平均年齢は72～73歳で、新規入会者の平均年齢も68.2歳です。入会者の平均年齢が高くなると活動できる期間が短く、技術を身につけても現場で活躍するところまではいきません。民間企業等の就業先開拓は、どこも同じような依頼が多く、それに見合った会員の確保が難しいという理由



- 住所 〒319-0393 水戸市内原町1395-1
水戸市役所内原支所3階
- TEL 029-303-7272 FAX 029-303-7288
- E-mail mito@sjc.ne.jp
- 業務時間 月曜日～金曜日 8:30～17:15
- 最寄駅 JR常磐線内原駅より徒歩12分



から積極的に行っていません。最近多いのは送迎を目的とする運転業務や福祉施設での調理補助業務ですが、運転は高齢ドライバーの事故が増加していることから、慎重に対応しています。

また、お客様とコミュニケーションがとれないという問題もあり、接遇講習には力を入れています。施設管理などでは当然ですが、除草や植木剪定など一般家庭で従事する会員にも、接遇講習を必ず受けるように指導して、雨天時の連絡や下見の際のマナーなどをしっかりと身につけてもらうようにしています。

ボランティア活動は、市及び関係団体が主催する黄門まつり(8月)、梅まつり(2月)前のメインストリートの清掃作業や桜川水系クリーン作戦(11月)に役職員・会員がオレンジ色のビブスを着用して参加しています。

広報誌は年に二回発行し、一回は市内全戸配付、もう一回は会員のみの配付です。

全戸配付をすると、入会希望者や仕事の依頼が増え効果を感じています。仕事の依頼方法で多いのは電話ですが、ホームページからの問合せも月に数件あります。電話の場合はリピーターが多く、新規の方はホームページからくる傾向にあります。





合併から10年、地域性に応じた活動で 地元に貢献する

公益社団法人 桜川市シルバー人材センター

- 住所 〒309-1242 茨城県桜川市羽田1019-1
- TEL 0296-58-7888 FAX 0296-54-6100
- E-mail sakuragawa@sjc.ne.jp
- 業務時間 月曜日～金曜日 8:30～17:15
- 最寄駅 JR水戸線 大和駅から車で約15分

桜川市は茨城県の中西部に位置し、北は栃木県、東は笠間市と石岡市、西は筑西市、南はつくば市と接している人口約42,000人の都市です。平安時代から「西の吉野、東の桜川」と言われるほど桜の名所として知られ、桜川にちなんだ短歌(紀 貫之 作)や能楽作品(世阿弥 作)も残されています。また、桜川市は日本有数の御影石の産地でもあり、日本銀行や迎賓館など日本を代表する建造物に、桜川市産の石が使われてき

ました。市街地には古い町並みが広がり、国の登録有形文化財建造物の数は100棟以上もあります。この風情のある町の中で開催される「真壁のひなまつり」は有名です。

桜川市シルバー人材センターの会員数は2018年9月末現在、248名(男性162名、女性86名)です。発注者の内訳は、公共が22.6%、民間事業所が50.6%、一般家庭が26.8%になります。会員は3支部に分かれて活動していますが、合併から10年たって交流も盛んになりました。以前は関城、明野、協和、真壁、大和の5町村の広域シルバーでしたが、市町村合併に伴い3町と1町1村に分かれました。そこに岩瀬のミニシルバーが加わってできたのが、桜川市シルバー人材センターです。

特徴としては、農村部が多いため農家のお手伝い、そして地域的に石材関係の仕事もあります。石材業は、外材の木箱解体やゴミの分別、展示会の清掃などです。最も多い仕事は、草刈と植木の剪定で、現在は市営公園の管理や、真壁城跡の草刈を行っています。また、許可を得ているので粗大ゴミ搬入の手伝いなども行います。民間企業の場合は、市内3か所にある工業団地の清掃や派遣事業です。以前は介護関係の仕事もあり、講習会などをやっていましたが、今は施設で対応するようになりました。現在のセンター内に襖・



障子の張替え作業場はなく、会員宅で行っていたのですが依頼は減ってきました。2月にある真壁のひなまつりでは、駐車場内の整理や料金徴収を行います。また、期間限定ですが観光案内も地域を知っているからこそできるシルバーの仕事です。ボランティア活動は、年に一回、旧町村別に分かれて草刈、草取り、道路の清掃活動を行っています。

会員数は、ピーク時には300人を超えていましたが最近では減少してきました。入会される方も70代が多く、活動できる期間は以前と比べると短いです。80代の方も在籍していますので、落ちた枝葉をまとめるなどの、体への負担が比較的少ない仕事を担当していただくようにしています。当センターでは作業品質向上のため、3つの地区それぞれを担当する職員が、適切に作業をしているか確認して回っています。

会員募集については、商工祭の中でシルバー人材センターのブースに会員募集の看板を置いたり、市報に隔月で情報を掲載していますが、現在のところ問い合わせは少ないです。引き続き募集活動には力をいれていく必要性を感じています。



私の健康の秘訣は、シルバー人材センター

いいむら かずえ
 大子町シルバー人材センター 飯村 主計さん (71歳)



入会したきっかけは？

入会したのは、平成29年の11月です。それまでは建設関係の仕事をしていましたが、重い物を運ぶのも辛くなり、そろそろ辞め時なのかなと感じていた頃に、シルバーの会報に掲載されていた会員募集の記事を見つけて、事務所に話を聞きに来たのがきっかけです。

現在担当されている仕事は？

個人宅や学校、寺院、企業などの除草作業を行っています。ただ、大子町は傾斜地が多いのが特徴です。作業をする際には、山間部用のスパイク付きの靴を使用しています。人によってはアイゼンを付けている人もいます。転落すると大きな事故につながってしまうので、十分に注意しなくてはなりません。踏み出す時にも、地固めをしてから踏み出すといったように注意しています。

作業をやって嬉しいと感じたことはありましたか？

除草を依頼されたお宅に下見に行ったところ、不幸があったと言われ作業日程の見直しを事務所に連絡しました。しかし、実は病院で危篤状態になっているということが分かり、そこで急遽一人応援を呼んで2時間程度目立つ場所の除草作業を行いました。間もなくして、危篤だった方はお亡くなりになったそうです。ご遺体がお自宅に戻った時、家の周りが除草されていたので息子さんがとても感謝していたと、残りの作業を後日行った際に聞かされました。私自身の経験から、自分なりに判断して作業を進めてしまいましたが、やってよかったなと思いました。

健康法は何かありますか？

身体を動かして常に何かをやって頭を使うようにしています。あえて言えば、シルバー人材センターで活動していることが健康法ですね。



さすがシルバーと思われるような仕事をしていきたい

やまもと ひさお
 公益社団法人 古河市シルバー人材センター 山本 久雄さん (75歳)

入会したきっかけは？

平成15年に定年で退職した後、次の仕事を探そうと思っていた時テレビでシルバー人材センターを扱った番組を見る機会がありました。会員が地域に貢献する姿に、とても興味を持ちました。近所の先輩も会員でしたので、それもきっかけです。

現在担当されている仕事は？

入会してから、建物の清掃や工場の作業、廃品回収、草刈り、イベントの入場料の受取りなど様々な仕事を行いましたが、現在は古河総合公園の管理(草刈り・剪定・補修)をリーダーとして担当しています。公園関係者による定期的な会議にも出席させてもらい、設計者から公園の特長を聞く機会もありますので、作業する際にその特長を損なわないよう気を付けています。

心掛けていることは何ですか？

先輩が言っていた言葉ですが、「さすがシルバーって思われるようにしよう」ということです。私たちが直接来園者と接する訳ではありませんが、公園に来るお客様に来てよかったと感じてもらえるよう、休日やイベント前などは多少の雨でも作業をしています。「きれいだね」という声が聞こえてくると嬉しいです。これも先輩から言われていたことですが、仕事の効率を上げる工夫をすることです。無駄な動きや時間を見直して、予定より短い作業期間で終わるようにすることです。予定通りに終わればと思ってやっていると、それ以上かかってしまうことも少なくありません。私は先輩には恵まれていたなと感じています。

今、感じていることは？

仕事は少ない月もありますので、仕事を選んでいてはだめです。何でもやるという気持ちが必要ですね。それと、後継者となるような会員に入会してほしいです。

「利用者様」を支える 一人として

公益社団法人 つくば市シルバー人材センター

医療法人社団 双愛会
介護老人保健施設ひまわり
副師長 菅 幸江 様

私ども「介護老人保健施設ひまわり」は、自然豊かなつくば市荃崎地区に建つ「つくば双愛病院」の4階にあり、医療依存度の高い方から在宅復帰を目指す自立度の高い方まで、さまざまな方々が入所されており、常に『地域に根ざした老健施設』を目指しております。

私どもでは、シルバー人材センター会員の方に食事に伴うケアをお手伝い頂いております。中でも、週3日「昼・夕」の食事時に配膳から食事介助、下膳や後片付けを「Oさん」にお願いしておりますが、その仕事ぶりに何時も大変助けられております。

「ひまわり」では若い子育て世代から60代まで幅広い層のスタッフが働いておりますが、業務が繁雑な時など、ご高齢な方、認知症の方への対応が落ち着いて出来ない時もあります。そんな



な時「Oさん」が居ると、それだけで利用者様の安心した表情が見てとれます。スタッフに余裕が無い時に「Oさん」の穏やかで優しい声かけや丁寧な接遇に安心される利用者様をみて、私達は多くのことを学ばせて頂いております。

「Oさん」の気配りに満ちた立ち居振る舞いが、利用者様、職員の安心と笑顔に繋がり、利用者様を支える一人として、「ひまわり」に欠かせない存在となっているのです。

超高齢化社会を目前に、組織力だけでは戦えない時代になっていくのは目に見えております。今後もシルバー人材センターの会員の方々に助けて頂きながら、地域全体で高齢化社会を支えていきたいと考えておりますので、今後とも皆様のお力添えをお願い申し上げます。

鹿嶋生活になくてもはならない シルバーさん

公益社団法人 鹿嶋市シルバー人材センター

株式会社 大丸
代表取締役 松本 卓様 様

私は東京に住んでいますが、広い敷地が気に入り、鹿嶋市都賀に別荘を構えました。早いもので30年がたちます。

私の趣味の一つに庭木の手入れがあり、毎週日曜日は楽しみに鹿嶋に來ています。私一人では庭木の手入れ後の片付けまでは出来ないのです、初めは一般の方に手伝って頂いておりましたが、ある時、地元の方と知り合いになり、シルバー人材センターを紹介していただきました。それからシルバー人材センターさんとは15年ぐらいのお付き合いになります。

事務所の方、仕事に來てくださる皆さん、とても良い人が在籍しています。庭木の手入れの後始末、草むしりなど、いろいろな仕事を毎週のようにお願いしていますが、皆さん、とても感じが良く、気が利いていて大変助かっ



ています。

シルバー人材センターさんには、いろいろと手に職を持っている方がおられます。私は自分でいろいろな物を作るのが好きなので、フェンスや門の設置、塀の塗装などの際にも手伝っていただき、大変助かっています。

また、鹿嶋の方々は気さくな方が多く、鹿嶋に行った時には必ずと言っていいほど声を掛けてくれます。一週間に一回ですが、鹿嶋に行ったら庭木を眺め、のんびりとできることが私の楽しみの一つになっております。

シルバー人材センターさん、これからもよろしくお願いします。

就業活動 レポート



廃棄された物に、もう一度 自分たちの手で生命を吹き込む

(クリーン工房)

公益社団法人 牛久市シルバー人材センター

牛久クリーンセンターは、牛久市民を対象にした廃棄物の焼却施設です。その施設の中に、牛久市シルバー人材センターが運営するリサイクルショップがあります。クリーンセンターに廃棄された物の中から、使えそうな製品を選んで現在は、3名の会員で再生作業を行い販売をしています

再生にあたってはまず、製品化できるか判断をして製品化可能となれば洗浄作業・修理・補修を行います。不足しているパーツ類があれば、ストックしているもので対応します。このパーツ類も、廃棄物を解体する際に金属製品と木製品とに分け、その中から様々な種類のネジなどを取り出してストックしていますので、作業費以外の原価は発生しません。廃棄物が持ち込まれる牛久クリーンセンターにも、シルバーの会員が勤務していますので連携をとっています。再生できそうなものが持ち込まれると連絡が入り、工房に持ってきて確認をします。再生できないと判断した場合は、クリーンセンターに戻すようにしています。買い取りはしていないので、お店では廃棄物は預かりません。

新品には戻りませんので、どこまできれいにするか判断します。木製の家具類は、最近は材質が変わってきたために、一度木ねじを外すとねじが利かな



くなるものが増えてきました。太いねじで試すと割れてしまいますので、木製家具は再生が非常に難しくなっています。最近では雑貨の再生も始めました。雑貨類は再生が難しいのですが、10個のうち6個程度は販売できるようになります。雑貨を扱うようになってから、売り上げが伸びてきました。

3名の会員は、現役時代は現在の再生事業とは全く関係のない仕事をしていました。シルバー人材センターに入ってから、この仕事に就いて修理方法を教わっています。本物の家具職人や修理スタッフには負けているかと思いますが、購入してくれる方は喜んでくれます。しかし、牛久市にお住まいの方でも、このようなお店は初めて見たといわれるので、あまりこの事業は知られていないのかもしれません。多くの市民の方に知ってもらえるような広報活動がこれからは必要だと思っています。

日曜と月曜が定休日です。仕事にはお店での販売と、再生工房での作業の二つの役割があるので、

現在の人数ではとても厳しく、誰か休んだりすると店頭が不在になってしまいます。そのような中で活動していますが、自分たちの手で修理したものが売れてお客様の役に立つということに、喜びとやりがいを感じられる事業です。



お客様の気持ちを裏切らないために、 質の高い剪定に努める

(植木剪定事業)

行方市シルバー人材センターには、現在植木班が6名、草刈班が10名、女性中心の除草班が15名います。また、作業後の剪定枝を処理場に搬入する片付け班は2名です。このような剪定や草刈りの仕事の割合が多いのが、当センターの特長です。以前は北浦地区センター、玉造地区センター、麻生地区センターがありましたので、会員さんは基本的には地区毎に分かれています。お客様に迷惑をかけないようにお互いに協力するという方針で作業にあたっています。

市内には比較的大きな家が多いことから、全体の8割は個人宅からの依頼です。市の美化センターでは、60センチ以上の剪定枝は受け取ってもらえませんので、民間の処理場に運んでいます。処理場への搬入は有料(計量方式)ですので、見積り時には処理費用が別途発生することも伝えなくてはなりません。

剪定依頼の電話が事務所に入ると、最初に業務推進課の職員が対応し、刈込をやるのか、松の剪定なのかなど依頼主と打ち合わせをします。その後、植木班、草刈班など各班の班長に植木の剪定・刈込・片付けなどの予定を伝えます。班長とのミーティングでは、仕事内容や、どのように仕上げてほしいのかという要望もきちんと確認しています。ここをしっ

かり行わないと、終了した時に苦情につながってしまいます。残す枝を切ってしまったら戻すことはできません。班長は事前に下見を行い、仕事前のミーティングで全員に情報を徹底させます。剪定が終わったら、履行確

認書に依頼主の住所・氏名・印鑑をもらい、事務所へ完了報告を行います。事務所では、請求書を翌月の7日前後に到着するよう発送しています。



植木の剪定で欠かせないのは技術力です。業者さんに剪定をお願いしていたお客様が、技術は変わらないだろうとシルバーへ依頼するということが増えてきました。そのようなお客様の気持ちを裏切らない仕上がりにするために、技術力を高める努力が必要です。そこで独自に講習なども行ってきました。そのような成果が表れてきたのか、植木剪定も草刈りも、シルバーさんに頼むようになって非常に良くなった、また来年も頼むよというお言葉を頂くことが増えています。

今後の課題としては、植木剪定を担当する会員を増やしていくことです。入会時には仕事の第一希望、第二希望を聞いていますが、植木よりも草刈り作業の方が多くなっています。植木はどうですかと聞いてみると、自宅の刈込ぐらいはできるという方が大半です。植木剪定の依頼件数自体は、必ずしも増えているわけではありませんが、植木職人の方も減ってきているので、その受け皿としてもシルバー人材センターの役割はますます高まっていくはずで



平成30年度 高齢者活躍人材育成事業技能講習の実施状況

本連合会では、厚生労働省茨城労働局の委託を受けて、シルバー人材センターで就業を希望する方を対象に就業に必要な能力を身につけていただくため、技能講習を開催しています。本年度の開催状況は次のとおりです。

7月～
2019年2月

開催地域	開催期間	受講者数(人)
介護職員初任者講習		
土 浦 市	9月28日～11月5日	7
水 戸 市	11月14日～12月20日	10
福祉有償運送講習		
ひたちなか市	11月14日～11月15日	6
石 岡 市	1月23日～1月24日	実施予定
常陸太田市	1月30日～1月31日	実施予定
鹿 嶋 市	2月13日～2月14日	実施予定
介護・生活支援スタッフ講習		
笠 間 市	7月23日～7月25日	7
龍ヶ崎市	8月21日～8月23日	7
古 河 市	9月12日～9月14日	8
ひたちなか市	10月16日～10月18日	12
介護施設調理補助講習		
水 戸 市	8月29日～8月31日	12
筑 西 市	9月12日～9月14日	8
日 立 市	10月23日～10月25日	6
介護施設清掃スタッフ講習		
水 戸 市	8月21日～8月23日	6
日 立 市	9月4日～9月6日	9
下 妻 市	10月23日～10月25日	12
鹿 嶋 市	1月16日～18日	実施予定
保育施設清掃スタッフ講習		
石 岡 市	10月9日～10月11日	11
水 戸 市	10月16日～10月18日	6

開催地域	開催期間	受講者数(人)
店舗業務補助スタッフ講習		
龍ヶ崎市	11月20日～11月22日	8
下 妻 市	11月28日～11月30日	6
土 浦 市	12月10日～12月12日	実施予定
鹿 嶋 市	1月23日～1月25日	実施予定
店舗調理補助スタッフ講習		
石 岡 市	9月26日～9月28日	6
那 珂 市	10月17日～10月19日	7
筑 西 市	12月5日～12月7日	実施予定
施設管理スタッフ講習		
水 戸 市	7月25日～7月27日	11
土 浦 市	9月12日～9月14日	10
古 河 市	10月23日～10月25日	7
神 栖 市	11月27日～11月29日	6
北茨城市	1月23日～1月25日	実施予定
施設清掃スタッフ講習		
つくば市	8月7日～8月9日	9
行 方 市	9月18日～9月20日	9
笠 間 市	11月6日～11月8日	10
牛 久 市	11月20日～11月22日	7
下 妻 市	1月29日～1月31日	実施予定
実施済26講習、実施予定9講習		

※平成30年11月30日現在

本講習は、60歳以上のシルバー人材センター会員及び入会をして就業を希望する方のために、平成27年度から新しく設けられました。

わくわくシルバーフェスティバル

普及啓発促進月間



県内のシルバー人材センターでは、10・11月の普及啓発促進月間に各地域のイベントに参加して、活動内容の紹介や、会員の作品・地元特産品の販売等を行いました。

銚田市

「銚田うまかっぺフェスタ まちなかカーニバル」

2018年10月14日(日)
銚田市中心市街地



阿見町

「阿見さわやかフェア 2018」

2018年10月21日(日)
阿見町総合保健福祉会館、
町道206号線の一部



結城市

「祭りゆうき 2018」

2018年10月28日(日)
南部中央公園・
結城市文化センター「アクロス」



かすみがうら 市

第14回 「かすみがうら祭り」

2018年11月3日(祝)
第一常陸野公園



常陸太田 市

「常陸秋そば フェスティバル」

2018年11月10日(土)
山吹運動公園駐車場



シルバー人材センターで得た配分金収入等に対する所得税の取り扱いについて

- 配分金収入は、所得税法上『雑所得』に区分されます。雑所得の金額は、原則として雑所得の総収入金額から必要経費を控除した額です。従って、配分金収入に係る必要経費の額は、65万円以上ある場合、配分金収入から必要経費の全額を控除とします。
- 必要経費の額が65万円に満たない場合は、『租税特別措置法』第27条(家内労働者等の事業所得等の所得計算の特例)の適用により、65万円を上限として控除できます。ただし、収入金額が限度になります。
- 公的年金を受給している会員は、配分金収入とは別に公的年金等控除を行えます。
- 給与収入のある会員は、最低65万円(ただし収入金額を限度とします)の給与所得控除が受けられますが、その場合、配分金収入に係る控除額は65万円から給与所得を控除した残額が限度です。

必要経費の額が65万円未満の場合の例示

[設例] あるセンター会員(66歳)の年間収入は次のようなものでした。

- ① 配分金収入 52万円(うち交通費等の必要経費10万円)
- ② 給与収入 40万円(労働者派遣事業および職業紹介事業による賃金)
- ③ 公的年金収入 150万円

1 配分金収入及び給与収入に係る所得の控除

(最低保障額) (給与所得控除額) (雑所得(配分金所得)分の最低保障額)
650,000円 - 400,000円 = 250,000円

(最低保障額の残額) (配分金収入) [雑所得(配分金所得)分の特例経費]
250,000円 < 520,000円 → 250,000円 → 最低保障額の残額で頭打ち

従って、この場合

520,000円 - 250,000円 = 270,000円が控除後の所得となります。→ **A**

2 公的年金収入に係る雑所得の控除

$1,500,000 \times 100\% - 1,200,000\text{円} = 300,000\text{円}$

割合や控除額については、

「公的年金等に係る雑所得の速算表」(税務署にあります。)から算出してください。

従って、この場合、300,000円が控除後の所得となります。→ **B**

3 基礎控除及び納税額

配分金収入、給与収入、公的年金収入に係る所得控除後の所得合計額

A + **B** = 570,000円

(基礎控除)

570,000円 - 380,000円 = 190,000円 [課税所得額]

[課税所得額] [税率] [確定申告による納税額]

190,000円 × 5% = 9,500円

既に源泉徴収された所得税額が納税額を上回る場合は、確定申告で税が還付されます。

なお、配分金収入、給与収入、公的年金収入以外の収入がある場合の所得控除及びその他の控除については、最寄の税務署にお尋ねください。

第12回チャリティゴルフ大会開催 収益金は「愛の募金」へ

10月24日(水)、毎年恒例の第12回チャリティゴルフ大会が水戸レイクスC.C(城里町)において開催され、天候に恵まれた絶好のゴルフ日和の中で58名の参加者が腕を競い合いました。



当日のチャリティ募金61,160円は、11月2日に綿抜会長から茨城新聞文化福祉事業団「愛の募金」に寄付をさせていただきました。ご協力ありがとうございました。

会報「県シ連だより」編集会議メンバー

座長 (公社)茨城県シルバー人材センター連合会
編集委員 (公社)常陸太田市シルバー人材センター
編集委員 (公社)土浦市シルバー人材センター
編集委員 (公社)筑西市シルバー人材センター
編集委員 (公社)行方市シルバー人材センター
編集委員 (公社)茨城県シルバー人材センター連合会

総務課長 石津 嘉一
事務局長 櫻村 浩治
主幹 佐々木 希
主事 百目鬼康弘
職員 武井 晴美
総務主任 大山 隆

公益社団法人 茨城県シルバー人材センター連合会

〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918

茨城県総合福祉会館3階

TEL:029-244-4622 FAX:029-244-4633

ホームページ <http://www.ibaraki-silver.jp>

E-mail ibarakirengo@sjc.ne.jp